

第52回

全国学童保育研究集会



HYOGO^GO!

in 兵庫

「全国研は元気の素」、
2日間、存分に語りあい、学びあいましょう。
ぜひ、ご参加ください！

全体会

2017年11月4日（土）13:00～16:50

会場：神戸国際展示場 2号館（神戸市）

12:00 受付開始
13:00～13:30 歓迎行事
13:30～13:50 開会行事
13:50～14:15 基調報告 全国学童保育連絡協議会
14:15～15:00 特別報告
15:15～15:25 『日本の学童ほいく』普及拡大アピール
15:25～16:45 記念講演
「小学生のこころのヒ・ミ・ツ」
近藤直子（日本福祉大学名誉教授）
16:50 閉会

交流会 17:30～20:00

会場：神戸国際会議場レセプションホール

分科会

2017年11月5日（日）9:30～16:00

会場：①神戸国際展示場 2号館、②神戸国際会議場、③アリストンホテル神戸、
④しほくわ夙川学院短期大学、⑤ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター、⑥神戸市勤労会館（神戸市）

8:30 受付開始 9:30～16:00 分科会

主催 全国学童保育連絡協議会 兵庫県学童保育連絡協議会

後援 兵庫県・兵庫県教育委員会 神戸市・神戸市教育委員会 厚生労働省ほか

参加申し込み書

第52回全国学童保育研究会

*ファクスで送る場合は拡大コピーしてください。

申し込み者氏名		電話番号（自宅 学童保育 携帯 その他）	
（ふりがな）		（ ） —	
【参加証送り先】 送り先に○をつけてください（ 自宅 学童保育 勤務先 その他 ）			
〒□□□□ - □□□□			
* 自宅以外の場合は、学童保育名・団体名・会社名、様方等を必ず記入してください。			
送付方法は右のいずれかに○をつけてください 個別送付 一括送付（代表者名： ）			
立場	保護者（O B含む）	指導員	児童館職員 自治体担当職員
○をつけてください	議員 児童委員	学校関係者	学生 その他（ ）
所属学童保育の所在地	都道府県（ ）市区町村（ ）		
参加費	4,000円		
弁当代	800円× 個 = 円		
『学童保育情報2017-2018』【集会特別価格】	500円× 冊 = 円		
合計（ ）円を（ ）月（ ）日振り込みました。控えのコピーを同送します。			
希望する分科会 例）第1希望（第2分科会②）	第1希望（第 分科会 ）		
※10月10日までに申し込み手続きが完了すれば席の確保をします。	第2希望（第 分科会 ）		
保育の申し込み（利用する日、子どもの年齢、名前、ふりがな、その他必要事項（アレルギー等）があればお書きください）			
4日(土)	歳 か月 (小学 年生)	ふりがな 名前	必要事項（ ）
5日(日)	歳 か月 (小学 年生)	ふりがな 名前	必要事項（ ）

ご記入いただいた個人情報は、本研究集会への参加申込み受付業務と問い合わせ、本研究集会運営に必要な範囲で、全国学童保育連絡協議会の管理責任のもと、兵庫県学童保育連絡協議会と共同利用いたします。また、参加申込者ご本人からの全国学童保育連絡協議会への本研究集会への参加申込み手続きを効率的に実施するために必要な範囲で、全国学童保育連絡協議会の管理責任のもと、ご記入いただいた個人情報を各都道府県連絡協議会（詳しくは、弊会ホームページをごらんください）と共同利用いたします。全国学童保育連絡協議会の個人情報保護方針に基づき、ご本人の許可なく第三者への提供は行いません。

参加申し込み方法・申し込み先

①メールでの申し込み

E-mail：52zenkokukenhyogo@gmail.com

兵庫県学童保育連絡協議会 〒650-0022 神戸市中央区元町通6-7-9 秋毎ビル3F

②郵送での申し込み

全国学童保育連絡協議会 〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13

③FAXでの申し込み・TELでのお問い合わせ

全国学童保育連絡協議会 FAX：03-3813-0765 TEL：03-3813-0477

振り込み先

ゆうちょ銀行口座記号番号 14360-94083061

口座名義：兵庫県学童保育連絡協議会（ヒョウゴケンガクドウホイクレンラクキョウギカイ）

※他の金融機関から振込む場合は、銀行名：ゆうちょ銀行、

店名：四三八店（ヨンサンハチ店）、預金種目：普通、口座番号：9408306

会場への交通案内



<11月4日 全体会>

①神戸国際展示場2号館

- ◎最寄駅：神戸新交通ポートライナー・市民広場駅下車、西出口から徒歩5分
- ◎JR新幹線・新神戸駅下車、市営地下鉄で三宮駅まで約2分、三宮駅からポートライナーで市民広場駅まで約10分

<11月5日 分科会>

①神戸国際展示場2号館

- ◎最寄駅：神戸新交通ポートライナー・市民広場駅下車、西出口から徒歩5分
- ②神戸国際会議場
 - ◎最寄駅：ポートライナー・市民広場駅下車、東出口から徒歩2分
- ③アリソンホテル神戸
 - ◎最寄駅：ポートライナー・市民広場駅下車、東出口から徒歩6分
- ④夙川学院短期大学
 - ◎最寄駅：ポートライナー・みなとじま（キャンパス前）下車、徒歩約10分
- ⑤ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター
 - ◎最寄駅：ポートライナー・京コンピュータ前下車、徒歩4分
- ⑥神戸市勤労会館
 - ◎最寄駅：JR三ノ宮駅下車、中央口から徒歩4分

駐車場

全体会会場、分科会会場ともに駐車場はありません。

参加者へのお願い

レポート資料

- ・分科会に参加者が自主的にレポートや資料を用意されることは大歓迎です。ただし、印刷は当日、会場ではできませんので、必ずご自身で事前に印刷して持ち込んでください（印刷枚数は11月1日〔水〕までに全国学童保育連絡協議会まで問い合わせください）。
- ・分科会会場では、まず世話人にレポート・資料の持ち込みの旨を伝え、世話人を通して参加者に配布してもらってください。なお、1日目（土曜日）に世話人に渡したいので、できましたら1日目に全体会本部に2部お持ちください。

販売

- ・販売は、実践や運動の記録、子どもの作品（文章など）に限ります。販売を希望される方は、それぞれの都道府県連絡協議会または全国学童保育連絡協議会事務局に、10月27日（金）までに申し込んでください。
- ・販売は、用意してある販売場所に限りをお願いいたします。販売物は、全国学童保育連絡協議会に1部寄贈を行うをお願いいたします。

チラシ配布券名義等

- ・会場内でのこれらの活動は集会運営に支障となりますので、認めていません。全国からの参加者にとって研究・学習の有意義な場となるよう集会を運営しています。ご理解とご協力をお願いします。

11月4日(土)

全体会 ●神戸コンベンションセンター
神戸国際展示場2号館

記念講演「小学生のこころのヒ・ミ・ツ」近藤直子（日本福祉大学名誉教授）



〈プロフィール〉

日本福祉大学名誉教授、NPOあいち障害者センター理事長、全国発達支援通園事業連絡協議会会長。全国学童保育連絡協議会発行の月刊『日本の学童ほいく』2015年10月号から2016年3月号までの半年間、「講座」を連載。編著書に『ステキをみつける保育・療育・子育て』（2015年）、『続 発達芽をみつめて』（2009年）ともに全国障害者問題研究会出版部。『自分を好きになる力』（2012年）、『ていねいな子育てと保育』（全国発達支援通園事業連絡協議会／編著、2013年）ともにクリエイツかもがわなど。

11月5日(日)

分科会

- ㊶神戸国際展示場2号館、㊷神戸国際会議場、
- ㊸アリストンホテル神戸、㊹夙川学院短期大学、
- ㊺ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター、
- ㊻神戸市勤労会館

希望する分科会をひとつ選んでご参加ください。1日を通して学習・交流します。

	分科会 [㊶会場]	学習・交流のねらい
1 基礎講座 (講義)	①学童保育ってなあに？ ～今日の子育てと学童保育の役割～ [㊹夙川]	子育て環境の現状、保護者の仕事・職場や就労の実態をふまえて、学童保育の役割と保護者と指導員が共に子どもを育てる学童保育のあり方を学びます。
	②保護者と指導員で学童保育をもっとよりよく [㊹夙川]	「我が子が安心して生活できる学童保育にしたい」と願うとき、学童保育の生活内容をつくり、運営や条件整備に取り組むにあたって、保護者と指導員がどのようにかわるか、一人ひとりの保護者と父母会（保護者会）、指導員の役割を学びます。
	③学童保育指導員の仕事ってなあに？ [㊹夙川]	学童保育指導員の仕事とはなにかを確かめ、仕事をしていくうえで必要な打ち合わせや記録などの日々の実務やその意味、学童保育をよりよくしていくうえで指導員に必要なこと・大切なことを学びます。
	④学童保育の生活——大切にしたいこと—— [㊹夙川]	学童保育で子どもたちにどのような生活を保障するか、そして保護者が安心して働くために、学童保育で大切にしたいことはなにかを学びます。
2	子ども理解と学童保育の生活づくり（実践の交流）[一人ひとりの子どもの学童保育での生活を保障し、保護者が安心して働けるために大切にしたいことを、実践を交流しながら学びあう]	
	①子どもを理解する視点と働きかけ・指導（2教室）[㊹夙川]	一人ひとりの子どもをどう理解し、その理解をどう深めるか、子どもへの働きかけ・指導の視点を学びあいます。
	②安心できる関係づくりと生活内容（2教室）[㊹夙川]	継続的で安定した毎日の生活をつくるために、一人ひとりの子どもと指導員との関係から生まれる安心感を土台として、子ども同士の関係をつくるうえで大切にしたいことを学びあいます。
	③学童保育の生活の見通しと流れ [㊹夙川]	継続的で安定した毎日の生活をつくるために、子どもの状況、状態をふまえたうえで、平日の放課後・土曜日・長期の学校休業日など、それぞれの生活の見通しと流れをつくるうえで大切にしたいことを学びあいます。

	分科会 [㊤会場]	学習・交流のねらい
	④学童保育の生活とあそび（2教室）[㊤ニチイ]	子どもにとってのあそびの意味や、学童保育の生活のなかでのあそびの位置づけ、指導員のかかわりを学びあいます。
	⑤子どもたちの生活を伝え、保護者とともに育てる（2教室）[㊤ニチイ]	子どもたちの姿や指導員のかかわりを保護者に伝えること、保護者の生活や願いを受けとめ、指導員と保護者がともに子どもを育てることの大切さを学びあいます。
	⑥1年生から6年生までの学童保育の生活づくり [㊤ニチイ]	高学年の子どもの学校や家庭、地域での過ごし方、子どもの思い・願いを理解し、異年齢の子どもたちが過ごす場である学童保育で大切にしたいことを学びあいます。
	⑦障害のある子どもにとっての学童保育（2教室） [㊤会場] 助言者・佐々木将芳(豊橋創造大学) 助言者・千歳 敏(兵庫・特別支援学校教諭)	障害のある子どもが入所している学童保育での生活づくりの実践を交流し、保護者や指導員の働きかけ・かかわりで大切にしたいことを学びあいます。

	運動を交流する分科会	
3	①つながる“わ” 父母会・保護者会の役割と活動（2教室）[㊤展示場]	学童保育を充実・発展させる、父母会（保護者会）の活動の様子を交流し、父母会（保護者会）の役割と大切さを確かめます。
	②市区町村の連絡協議会づくりと活性化 [㊤アリストン]	活動を持続・発展させるための工夫、保護者・指導員が「あってよかった」と実感した経験を交流し、市区町村・都道府県の連絡協議会のもつ役割と大切さを確かめます。
4	保護者が運営する学童保育——運営と改善の課題—— [㊤勤労]	保護者が主体的にかかわれるような運営の工夫、指導員との連携・協力のあり方、行政への働きかけの実際などを交流し、保護者が担っている役割と行政の公的責任について確かめます。
5	公立公営の学童保育——実態と改善の課題—— [㊤勤労]	公立公営の学童保育の実態と課題、保護者と指導員が生活内容と施策をどう充実させていくかを交流し、公立公営の意義・役割を確かめます。
6	運営主体の多様化がすすむ学童保育——実態と改善の課題—— [㊤アリストン]	学童保育の民営化、運営主体の変更、企業参加が広がっています。その実態を交流し、行政の公的責任と運動の課題を確かめます。
7	学童保育と「放課後子ども総合プラン」 [㊤勤労]	「放課後子ども総合プラン」の動向や問題点、課題を明らかにし、学童保育の役割を確かめます。
8	学校内の学童保育——実態と改善の課題—— [㊤勤労]	学童保育が学校内にあることの課題や利点などを整理し、よりよい学童保育をつくるための学校との連携や生活環境づくりについて考えます。
9	毎日の生活の場——よりよい施設を子どもたちに—— [㊤勤労]	施設・設備の実態と課題について、省令基準や「放課後児童クラブ運営指針」をふまえて、改善運動や工夫を交流し、学童期の子どもたちの「生活の場」にふさわしい学童保育の施設・設備のあり方を確かめます。
10	安心して関係を築ける人数に——「40人以下」の実現を考える—— [㊤勤労]	省令基準や「放課後児童クラブ運営指針」で示された「子どもの人数はおおむね40人以下」を実現するための新設、分割の必要性とあり方を考えます。
11	「子ども・子育て支援新制度」と学童保育施策の拡充の課題 [㊤勤労]	学童保育の制度・施策の課題を明らかにし、国と自治体に対する運動を交流し、さらに制度・施策を充実させていくために必要なことを確かめます。
12	学童保育における指定管理者制度の課題 助言者・木村雅英（地方自治研究者） [㊤アリストン]	学童保育に指定管理者制度が導入されている実態を交流し、問題点、課題を明らかにして、導入させないための運動、導入の撤回を実現するための運動を交流します。

	分科会 [㊥会場]	学習・交流のねらい
13 指導員にかかわる課題	①専任・常勤・複数体制の確立、労働条件の確立 [㊥会議場]	指導員の仕事を確かめ、「非常勤」「非専任」「午後から勤務」「ローテーション」体制の実態と問題点を明らかにし、専任・常勤・複数体制の必要性、各地域での労働条件の改善の必要性を確かめます。
	②指導員の仕事の確立と研修 [㊥会議場]	指導員の仕事には日常的・継続的な研修と経験の蓄積が不可欠であることを確かめ、地域で行われている研修の内容、行政研修や自主的な研修の内容について交流します。
	③指導員のチームワークと指導員会 [㊥会議場]	指導員の仕事に必要なとされる「職場づくり」や「チームワークづくり」の実態を交流して、課題を確かめ、指導員同士が学び、支えあうための指導員会の必要性やあり方について学びます。

	講義と交流の分科会	
14 障害のある子どもと学童保育	①障害のある子どもの理解と受け入れ 講師・田村和宏（立命館大学） [㊥会議場]	障害のある子どもの権利と生活の理解を深め、保護者の願いを受けとめて学童保育で受け入れるにあたって大切にしたい視点や必要な条件整備について学びます。
	②発達障害のある子どもの理解と支援 講師・青山真吾（ノートルダム清心女子大学） [㊥会議場]	発達障害のある子どもの理解を深め、学童保育の生活づくり、子ども同士のかかわり、指導員とのかかわりで大切にしたいこと、保育するうえで求められることを学びます。
	③地域の専門機関・専門職等との連携 講師・丸山啓史（京都教育大学） [㊥会議場]	地域の専門機関・専門職等と学童保育が連携することの必要性と、学童保育以外に子どもが放課後を過ごす場所や、連携できる機関にはどのようなものがあるのかを学びます。
15	高学年の子どもたちの生活と理解 講師・岡崎 勝（愛知・小学校教諭） [㊥会議場]	高学年の子どもの心と身体の特徴、生活、願い・思いを確かめ、高学年の子どもたちに保障したい放課後の生活や、学童保育や家庭で大切にしたいことを学びます。
16	子どもの権利を学ぶ 講師・増山 均（早稲田大学） [㊥会議場]	「子どもの権利条約」を今日の日本の実情と照らしあわせながら、学童保育や家庭で大切にしたい子どもの権利を学びます。
17	今日の子どもの問題を考える 講師・福井雅英（滋賀県立大学） [㊦勤労]	いじめ、不登校、引きこもり、学級崩壊、少年犯罪など、今日の子どもをめぐる状況を明らかにし、子ども理解を深めることの大切さ、子育てや教育の課題を学びます。
18	学童保育と学校——保護者と指導員と教師のかかわり—— 講師・土佐いく子（大阪・元小学校教諭） [㊥会議場]	今日の学校・教師・子どもをめぐる実態や動向、子育ての願いや子どもの生活を保護者・指導員・教師が伝えあうことの大切さと、それぞれの実践の課題を学びます。
19	子どもの気持ちに気づく——家庭で、学童保育で—— 講師・岸本ひとみ（兵庫・小学校教諭） [㊦展示場]	働きながら子育てをしている保護者の状況や思い、願いもふまえ、一人ひとりの子どもの思いや気持ちに耳をかたむけ、気づくこと、理解を深めること、信頼関係を築いていくことの大切さを学びます。
20	子どもの発達と学力 講師・田中昌弥（都留文科大学） [㊦アリストン]	学力とはなにか、子どもの成長・発達と学力のかかわり、学力の土台になるもの、子どもの発達を保障するために家庭・学童保育・学校で大切にしたいことを学びます。
21	子どもの遊び・学び・仕事 講師・代田盛一郎（大阪健康福祉短期大学） [㊦アリストン]	子どもの成長・発達に、遊び・学び・仕事はどのような意味があるか、また、働くことや働く人への理解を深めること、家事労働の大切さなどについて学びます。

	分科会 [㊥会場]	学習・交流のねらい
22	子どものからだと生活 講師・木村彰宏（小児科医）[㉟ アリストン]	今日の子どものからだの特徴、成長期にある子どもが健康な からだをつくるうえで家庭・学童保育・学校で大切にしたい ことを学びます。
23	子どものアレルギー 学童保育の 生活のなかで 講師・中西理映子（NPO法人ア レルギー支援ネットワーク） [㉟ニチイ]	おやつや食事の提供など学童保育の生活づくりの実際や課題 を交流し、アレルギーの基礎知識と基本的な対応、子どもの 安全を守るうえで欠かせない視点を保護者と指導員が共に学 びます。
24	働きながらの子育てと家族・家庭 講師・池添 素（NPO福祉広場） [㉟会議場]	働きながら子育てをしている保護者の状況、仕事・職場の実 態をふまえ、家族・家庭の役割、働きながら子育てできる環 境を築くうえで必要なことについて学びます。
25	仕事・職場、働き方を考える 講師・野上まゆみ（弁護士） [㉟展示場]	働く者の仕事・職場、働く条件の実態を明らかにし、働きな がら子育てするために必要な、保育・学童保育の公的保障、 労働条件や労働環境を整備するうえでの課題を学びます。
26	地域とつながる学童保育 講師・柴田謙治（金城学院大学） [㉟展示場]	学童保育が地域とつながるとはどういうことか、町内会・自 治会など地域の団体と学童保育のかかわり、働く者と地域の かかわり、安全・安心な街づくりの課題について学びます。
27	困難を抱える家庭を支える学童保 育 講師・下浦忠治（東京成徳大学講 師）[㉟ニチイ]	「子どもの貧困」「児童虐待」についての実態と課題を学び、 どの子どもにとっても安心して過ごせる場所であり、困難を 抱える子どもたちや保護者を支える学童保育の役割について 考えます。
28	社会保障・児童福祉施策、地方自 治の動向と課題 講師・石原剛志（静岡大学）[㉟ 会議場]	社会保障と公的保育制度の動向、働きながらの子育てを支 えるための運動の課題について、今日の地方自治と自治体をめ ぐる政策動向、地方自治と住民運動の課題も含めて学び、交 流します。
29	特設分科会 「放課後児童支援員」の資格を考 える [㉟展示場]	「放課後児童支援員認定資格研修事業」の現状と課題を交流 し、経過措置後の資格のあり方についても考えます。
30	特設分科会 災害と学童保育 [㉟会議場] A：助言者・畑山みさ子（ケア宮 城） B：助言者・植木信一（新潟県立 大学）	A（震災も含め、心理的支援やケアの課題について学ぶ分散 会）災害によって、心に痛手を受けた子どもたちにはしばしば 見られる行動や、そうした子どもたちやその周囲の大人たち （保護者や指導員）に対して心がけること、また、支援者を どのように支えていくかについて、東日本大震災直後から、 子どものケアにあたる人のための支援活動を続けている助言 者から学び、交流します。 B（被災した地域の現状と、今後の課題を共有し、考えあう 分散会）東日本大震災と原発事故から6年あまりが経過しま した。2016年4月には熊本地震も発生しました。被災した地 域の現状、学童保育の復旧・復興に向けての課題、災害発生 時に子どもたちの安全をどのように守るか、これまでの経験 をふり振り返りながら、必要なことについて考えあいます。また、 学童保育の防災・安全対策、災害時にも求められる役割を保 障する学童保育の施策・運営を考えます。 C「阪神・淡路大震災」から22年を経て、神戸市内をめぐり （電車で移動）、当時の状況や、都市計画のあり方、復興のあ り方などについて学び・考えるフィールドワークの開催を予 定（検討中）。くわしくは8月下旬に全国学童保育連絡協議 会のホームページにて告知。

第52回全国学童保育研究集会のご案内

●日程と会場

2017年11月4日(土) 全体会 神戸国際展示場2号館(神戸市)
11月5日(日) 分科会 神戸国際展示場2号館、神戸国際会議場、アリストンホテル神戸、
夙川学院短期大学、ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター、
神戸市勤労会館(神戸市)

●参加費 4,000円(消費税課税対象外)

- 1日だけの参加も、両日参加も、参加費は同額です。
- 10月27日(金)以降にキャンセルした場合は返金できません。

●弁当代 800円 (5日のみ。神戸市勤労会館のほかの会場周辺には飲食店などがぎざられますので、お弁当が必要な方は必ず10月25日(水)までに申し込んでください。10月27日(金)以降にキャンセルした場合は返金できません)

●参加申し込み方法

- *参加申し込みは、ゆうちょ銀行への送金を利用してください。参加費(必要な方は『学童保育情報』代やお弁当代も)を指定の口座に振り込んでいただいたうえで、その控えのコピーと必要事項を記入した「参加申し込み書」をあわせて、FAXか普通郵便、Eメールでお送りください。FAXの場合は、文字が見えにくくなりますので、拡大して、お送りください。
- *参加申込書の「希望する分科会」は、第1希望と第2希望をご記入ください。10月10日までに申し込み手続きが完了されたかたは、希望分科会での席を確保いたします(後日の変更はできません)。今回は、会場が6会場にわかれておりますので、当日に分科会の移動は困難と思われる。事前に分科会の内容をご確認のうえ、10月10日までの早めのお申し込みをおすすめします。
- *市区町村に学童保育連絡協議会等がある地域は、できるだけ連絡協議会でまとめて申し込んでください。
- *宿泊希望がない場合でも事前に参加の申し込みをお願いします。当日受付もありますが、たいへん混雑しますので、事前申し込みは、10月25日(水)までをお願いいたします。

●保 育

- *3歳以上は用意しますが、十分ではありませんので、できるだけ地域で対応してください。保険料・おやつ代は当日、会場でいただきます。
- *必ず事前に申し込んでください。利用日、年齢、名前、ふりがな、必要事項(アレルギー等)があれば申し込み書にご記入ください。

●宿泊の申し込み

- *参加の申し込みとは別に、別途お知らせする要領(『日本の学童はいく』8月号にも掲載します)にそって、株式会社日本旅行 神戸支店に申し込んでください。

宿泊申し込み先

≪旅行企画・実施≫

株式会社日本旅行 神戸支店

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-2 JR西日本神戸支社ビル5F

TEL: 078-371-2810 FAX: 078-371-2816

担当: 池田 理紗・小野 正樹

観光庁長官登録旅行業第2号 総合旅行業務取扱管理者: 大野 宏

【営業時間】9:30~17:30(土日祝日は休業とさせていただきます)

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う支店での取引に関する責任者です。この旅行契約に関しご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記旅行業務取扱管理者にご質問ください。

申し込み専用サイト ホームページからも宿泊申し込みができます。

URL: <https://v3.apollon.nta.co.jp/gakudo2017/>



旅行業公正取引
協議会 会員



ボンド保証会員
日本旅行業協会正会員



日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY